

**財務契約系フロントシステムの
汎用項目構築機能および契約審査依頼業務
に対する機能追加**

調達仕様書

目 次

1. 一般仕様	- 1 -
1.1 件名	- 1 -
1.2 目的	- 1 -
1.3 作業内容	- 1 -
1.4 納期	- 1 -
1.5 納入場所	- 1 -
1.6 検収条件	- 1 -
1.7 契約不適合責任	- 1 -
1.8 検査員及び監督員	- 2 -
1.9 提出書類	- 2 -
1.10 支給品	- 2 -
1.11 貸与品	- 2 -
1.12 品質管理	- 3 -
1.13 産業財産権等、コンピュータプログラム等の取扱い	- 3 -
1.14 秘密保持、個人情報の保護、及び情報セキュリティの確保	- 3 -
1.15 グリーン購入法の促進	- 3 -
1.16 協議	- 3 -
2. 技術仕様	- 4 -
2.1 全体概要	- 4 -
2.1.1 財務・契約系情報システムの機能追加箇所について	- 4 -
2.1.2 設計方針について	- 5 -
2.1.3 現行システム保守作業との関係について	- 5 -
2.2 汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加	- 6 -
2.2.1 汎用項目構築機能	- 6 -
2.2.2 契約審査依頼起案業務処理	- 9 -
2.2.3 契約審査依頼起案情報検索処理	- 11 -
2.2.4 契約審査結果抽出業務処理	- 11 -
2.3 財務・契約系情報システム（財務契約系フロントシステム）の汎用項目構築機能および契約 審査依頼業務に対する機能追加に関する試験	- 13 -
2.3.1 財務・契約系情報システム（財務契約系フロントシステム）の汎用項目構築機能および 契約審査依頼業務に対する機能追加に関する試験	- 13 -

1. 一般仕様

1.1 件名

財務契約系フロントシステムの汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加

1.2 目的

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、機構と略す）では財務・契約系の基幹業務の効果的かつ効率的な遂行のため、「財務・契約系情報システム」の開発及び運用を行ってきた。

財務・契約系情報システム（財務契約系フロントシステム）において、契約審査依頼業務機能を有するものの、入力画面の複雑さから登録作業に時間を要しており、入力の簡略化による業務効率化が望まれている状況である。

加えて、契約審査結果の一覧資料を手作業で作成しており、正確かつ迅速な作成の為、システムからの出力による業務効率化が望まれている。

本調達では、入力簡略化のための汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加を財務契約系フロントシステムに行うものである。

1.3 作業内容

- (1) 財務契約系フロントシステムへの汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加
- (2) 上記(1)に対する試験

1.4 納期

令和8年8月31日（月）

1.5 納入場所

(1) 納入場所

茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

システム計算科学センター 原子力科学研究所 情報交流棟内指定場所

1.6 検収条件

本仕様書「1.9 提出図書等」の完納 及び 本仕様書「2. 技術仕様」に定める仕様で開発された本機能が検査要領書の項目に従って正常動作することの確認をもって検収とする。

1.7 契約不適合責任

検収後1年間以内に設計・製作上の不適合が発見された場合、無償にて速やかに改修を行うものとする。

1.8 検査員及び監督員

検査員

- (1) 一般検査 管財担当課長
- (2) 技術検査 システム計算科学センター業務 DX 推進室室員

1.9 提出書類

- (1) 作業工程計画書 (1部、契約後速やかに)
 - (2) 作業体制表 (1部、契約後速やかに)
 - (3) システム開発計画書 (1部、契約後速やかに)
 - (4) 議事録 (1部)
 - (5) 作業工程表 (1部)
 - (6) 作業報告書 (1部)
 - (7) 基本設計書 (1部)
 - (8) 詳細設計書 (1部)
 - (9) 運用管理者用操作マニュアル (1部)
 - (10) 利用者用操作マニュアル (1部)
 - (11) 検査要領書 (1部、検査実施1週間前)
 - (12) 検査成績書 (1部、検査後速やかに)
 - (13) ソフトウェア構成表 (1部)
 - (14) ソースコード 及び 実行形式ファイル (電子媒体のみ)
 - (15) 委任又は下請負届 (対象となる場合のみ) (1部、作業開始2週間前)
 - (16) 上記(1)～(14)を格納した CD-R 等電子媒体 (1式)
- (提出場所：システム計算科学センター業務 DX 推進室)

提出資料はすべて日本語で記述し、マイクロソフト株式会社製のオフィス製品（Word、Excel等）で編集が可能なデータ形式で納品すること。

設計書・操作マニュアルについては、貸与する現版の設計書を追記・修正する形で作成すること。また、改版履歴として追記・修正箇所を明確にすること。

上記に加えて受注者は資本関係・役員の情報、本契約の実施場所、従事者の所属・専門性（情報セキュリティに係る資格・研修等）・実績及び国籍についての情報を記した書類を契約後速やかに提出すること。

1.10 支給品

なし

1.11 貸与品

- (1) 財務・契約系情報システムドキュメント・ソースコード・実行形式ファイル 一式
- (2) 作業場所（情報交流棟南ウイング外来者用作業室）
- (3) 財務・契約系情報システム検証環境

(1)に関しては、本調達の履行完了時に発注者へ返還するものとする。

本調達の履行に必要な開発環境・ミドルウェアに関しては受注者が別途用意することとする。

また、発注者が許可する場合には(3)に対するリモートアクセスを可能とする。

1.12 品質管理

本調達の履行に当たっては、十分な品質管理を行うこととする。

1.13 産業財産権等、コンピュータプログラム等の取扱い

産業財産権等の取扱いについては、別紙「産業財産権特約条項」に定められたとおりとする。

また、作成されたコンピュータプログラム等の取扱いについては、別紙「コンピュータプログラム作成等業務契約条項」に定められたとおりとする。

1.14 秘密保持、個人情報の保護、及び情報セキュリティの確保

秘密保持、個人情報の保護、及び情報セキュリティの確保については別紙「コンピュータプログラム作成等業務契約一般条項」に定められたとおりとする。

1.15 グリーン購入法の促進

(1)本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA 機器等）が発生する場合は、これを採用するものとする。

(2)本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

1.16 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、機構と協議のうえ、その決定に従うものとする。

2. 技術仕様

2.1 全体概要

2.1.1 財務・契約系情報システムの機能追加箇所について

下記①の要件を満たすこと。

財務・契約系情報システムの機能追加箇所を図 1-1 に示す。

- ① 汎用項目構築機能および契約審査依頼に対する追加機能を財務契約系フロントシステムへ実装すること。

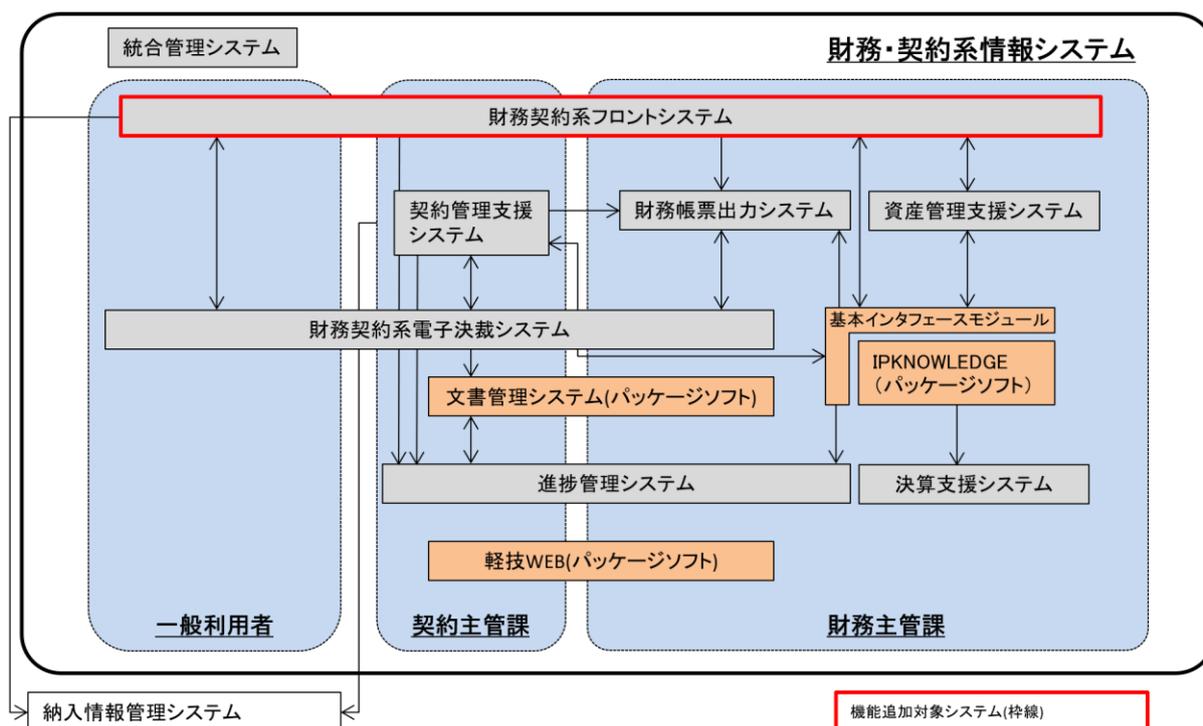


図 1-1 財務・契約系情報システムの機能追加箇所

2.1.2 設計方針について

下記①～⑤の要件を満たすこと。

- ① 汎用項目構築機能は財務契約系フロントシステム全体で汎用的に使用できるロジック及びDB構成とすること。
- ② 契約審査依頼起案業務処理において、従前のデータおよび汎用項目構築機能を用いたデータの処理が可能なこと。
- ③ 構築した項目が画面表示上崩れないよう、契約審査依頼起案業務処理のUIを最適化すること。
- ④ 汎用項目構築機能は、ページ全体のリロードや画面遷移といった入力作業を妨げる処理を行わず、ユーザーがシームレスに項目を追加・入力できること。
- ⑤ 契約審査依頼起案データを一覧で管理可能な登録方法または一覧で抽出可能なインタフェースを作成すること。

2.1.3 現行システム保守作業との関係について

改修対象のシステム(財務契約系フロントシステム)は現在運用中のシステムであることから、本調達の実施期間中に障害対応・仕様変更に起因するソースコードの追加・修正が発生する。これらソースコードの追加・修正が発生した場合、本調達の受注者は現行システムの保守業者より最新のソースコードを受領して本改修に反映させること。

2.2 汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加

2.2.1 汎用項目構築機能

- ・下記①～③の要件を満たすこと。
- ・制御、パーツ、ツールチップの機能は表 2-1、表 2-2 を参考にすること。
- ・汎用項目構築のイメージは図 2-1 を参考にすること。

- ① DB の設定内容を用いて、財務契約系フロントシステムの入力項目を構築する機能を追加すること。
- ② 項目を構築する為のテーブルは「業務・バージョンデータ」、「ブロックデータ」、「タグデータ」、「設問データ」、「回答データ」、「プルダウンデータ」、「ツールチップデータ」等分けて管理し、汎用性、メンテナンス性を考慮した構造とすること。項目構築のための各テーブルの使用例は下記を参考とすること。

「業務・バージョンデータ」は、(業務 ID、業務 ID2、有効開始日、有効終了日、先頭設問 ID 等)を設定し、汎用項目構築機能を使用する業務の管理およびバージョン管理を行う。機能を実装した画面から呼び出された場合、「業務・バージョン」に則して画面上で項目を構築する。汎用項目構築処理は先頭設問 ID から順に、データの設定または入力状況によって構築する。

「ブロックデータ」は、(業務・バージョン、ブロック名、表示、印刷、ツールチップ等)を設定し、画面上ブロック単位で区切って管理する。当該ブロック配下の設問が画面上に表示される場合のみ当該ブロックも表示する。また、表示の有無設定に応じて項目構築時のブロックデータ項目の画面表示を切り替えられる。その際に、配下の設問データの表示には影響しない。ツールチップが設定されている場合、汎用項目構築時に当該ブロックに設定されたツールチップを表示する。

「タグデータ」は(タグ名称等)を設定し、設問データでのタグ付けに使用する。

「設問データ」は(業務・バージョン、ブロック、設問 ID、設問、制御、印刷、ツールチップ、常設フラグ、タグ、必須フラグ、主管課権限フラグ等)を設定し、構築された項目は制御に応じた機能を有する。ツールチップが設定されている場合、汎用項目構築時に当該設問に設定されたツールチップを表示する。常設フラグが設定されている設問は常に表示する。表示する順番は設問 ID 順とする。

「回答データ」は(業務・バージョン、設問 ID、回答、パーツ、初期値、ツールチップ、次設問 ID、終了コード、拡張項目等)を設定し、設問 ID が同じに設定されている回答データがある場合、同じ設問の回答枠内に配置する。パーツが設定されている回答は指定されたパーツの機能を有する。初期値を指定することで、制御に応じた方法で初期値を設定可能とする。ツールチップが設定されている場合、汎用項目構築時に当該回答に設定されたツールチップを表示する。次の設問 ID が設定されている場合、設問の必須フラグに応じ、回答の入力が完了した段階で次の設問を画面に表示する。

「プルダウンデータ」は、(プルダウン ID、内容、次の設問 ID、終了コード等)を設定し、プルダウン ID が同じ内容をリスト化しプルダウンとして設問の制御や回答のパーツで使用する。プルダウンに次の設問 ID、終了コードが設定されている場合、回答データの同項目

より優先的に使用する。

- ③ 「ツールチップデータ」は、(ツールチップ ID、種別、内容等)を設定し、種別に応じた機能に内容を埋め込み、該当個所に表示する。

No.	種別	機能概要
1	年度入力	既存の共通年度入力項目と同様
2	組織検索(連動)	既存の組織検索と同様
3	職員検索(連動)	既存の職員検索と同様 組織検索(連動)の内容を継承
4	内線入力(連動)	既存の内線入力と同様 職員検索(連動)の内容を継承
5	Eメール入力(連動)	既存のEメール入力と同様 職員検索(連動)の内容を継承
6	組織検索(汎用)	既存の組織検索と同様
7	職員検索(汎用)	既存の職員検索と同様 初期値は毎回デフォルト値を使用
8	内線入力(汎用)	既存の内線入力と同様 初期値は毎回デフォルト値を使用
9	Eメール入力(汎用)	既存のEメール入力と同様 初期値は毎回デフォルト値を使用
10	テキスト表示	編集不可のテキストで(回答内容)を表示する
11	テキスト入力	1行のテキスト入力項目
12	テキストボックス	複数行のテキスト入力項目。上限まで入力可とする
13	プルダウン(プロジェクト)	既存のプロジェクトのプルダウンと同様
14	プルダウン(契約種別)	既存の契約種別のプルダウンと同様
15	プルダウン(DB設定)	指定したプルダウンIDを使用
16	ラジオボタン	設定回答データに応じていずれかを回答として選択する
17	取引先検索	既存の取引先検索と同様
18	クライテリア検索	既存のクライテリア検索と同様
19	ファイル添付	添付ファイルを1つまで添付可能
20	共通ファイル添付	既存のファイル添付と同様
21	日付選択	既存の日付選択と同様
22	契約番号検索	自身の権限範囲で支出、収入契約の番号を検索し、選択番号を保持し、件名を取得し表示する
23	金額入力(千円)	単位(千円)付きの金額入力項目
24	金額入力(円)	単位(円)付きの金額入力項目
25	通知先選択	職員検索で選択された職員番号を保持し、Eメールアドレスをマスタから取得し表示する
26	回数入力(回)	単位(回)付きの回数入力項目
27	設問参照	指定した設問を参照のみ可能な状態で回答付きで表示する
28	タグ参照	指定したタグを参照のみ可能な状態で回答付きで表示する

表 2-1 制御、パーツの機能概要

No.	種別	機能概要
1	URLリンク	押下時にツールチップデータに設定したURLを開く
2	マウスオーバーで説明	マウスオーバーでツールチップデータに設定した説明を表示する
3	ファイルダウンロード	押下時にツールチップデータに設定したパスのファイルをダウンロードする

表 2-2 ツールチップの機能概要

契約予定年度	R08		
起案者	所属	02053004 <input type="button" value="検索"/>	業務DX推進室
	氏名	OA0006 <input type="button" value="検索"/>	機構 太郎 <input type="button" value="内線"/> 000-0000
	Eメール	kikou.taro@jaea.go.jp	
契約審査起案番号	0801E00001		
整理番号	8 I 委 0 0 1		
依頼年月日	R08/11/01 <input type="button" value="…"/>		
希望納期	R09/03/31 <input type="button" value="…"/>		
新規・継続	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 継続(前回の契約番号を記載) <small>・業務内容(仕様)や契約件名が異なる場合は新規</small> <input type="button" value="0701C00001"/> 契約件名		
プロジェクト名	プロジェクト対象外 <input type="button" value="▼"/>		
契約種別	購入契約 (物品) <input type="button" value="▼"/>		
請求予算金額 (単位:千円)	1,000 千円		
予算財源1	運営費交付金 <input type="button" value="▼"/>		
予算財源2	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="button" value="補助金"/> <input type="button" value="▼"/>		
予算財源3	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="button" value=""/> <input type="button" value="▼"/>		
管理区域作業	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		
件名	R8/11/1契約審査件名		
希望選定相手方1	<input type="button" value="希望相手先A社"/> <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="?"/> <input type="button" value="?"/> <small>・原則として競争参加資格取得済事業者簿への登録業者を選択すること。</small>		
希望選定相手方2	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 <input type="button" value="希望相手先B社"/> <input type="button" value="検索"/>		
希望選定相手方3	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="button" value=""/> <input type="button" value="検索"/>		
目的	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。		
概要	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。		
相手方選定理由	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。		
契約方式とする理由	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。		

図 2-1 汎用項目構築イメージ

2.2.2 契約審査依頼起案業務処理

- ・下記①～⑰の要件を満たすこと。
- ・印刷帳票のイメージは図 2-2 を参考にすること。
- ① 既存の契約審査依頼起案業務処理において、汎用項目構築機能を使用して契約審査依頼起案業務処理が可能となるよう機能追加すること。従来通りのボタンが使用でき、汎用項目構築機能の追加後でも従来同等の処理が可能なこと。
- ② 切替日を設定し、切替日以降から汎用項目構築機能を有効とすることが可能なこと。
- ③ 従来の画面で登録されたデータは、従来の構成で処理、参照、印刷等が可能なこと。
- ④ 汎用項目構築機能を使用して登録したデータは契約審査依頼起案業務処理用のテーブルに登録し、一時保存や論理削除等、従来と同様の機能を使用可能とすること。
- ⑤ 「複写する」を実行した際に複写元が最新のバージョンではない場合、複写は不可とし、最新のバージョンで新規起案するようメッセージ等で促すこと。
- ⑥ 汎用項目構築機能を使用して登録したデータの「登録」時に、最新のバージョンでは無い場合、確認のメッセージを表示すること。選択に応じて「登録」は可能とすること。
- ⑦ 処理や帳票に使用する項目をタグで管理可能とすること。バージョンの変更や分岐による起案データ毎の設問に変動があった場合でも、タグを使用することで同じ用途で共通的に使用可能とすること。タグ付けされた設問は回答およびパーツどちらの登録内容も処理や帳票で使用が可能なこと。
- ⑧ 汎用項目構築機能を使用して登録したデータの「印刷」帳票を新規に作成すること。「印刷」帳票はタグを活用し、バージョンによる違いや分岐による回答項目に違いがあっても決められた場所に登録データを表示することが可能なこと。
- ⑨ 新規に作成する「印刷」帳票について、「応募要件」のタグ項目有無でテンプレートを2つ使い分けること。
- ⑩ 「登録」時に従来の方法で採番される契約審査起案番号は「契約審査起案番号」タグが設定された設問の回答として登録すること。
- ⑪ 「登録」時に「契約年度」タグおよび「契約審査」タグを使用して「状態区分」タグの回答が「審査中」の場合、ルールに応じた整理番号を自動採番し、「整理番号」タグが設定された設問の回答として登録すること。整理番号は(年度+契約審査区分+通し番号)の形式とすること。年度はゼロ埋め無しの数値のみとすること。契約審査区分はDB マスタ等で契約審査タグの内容を変換し使用すること。通し番号は年度+審査区分毎に通し番号を管理し使用すること。
- ⑫ 「電子決裁」の連携に必要な情報をタグ等で管理し、「電子決裁」処理が可能なこと。「印刷」帳票を決裁帳票とし、添付ファイルは設問を跨いでいるものを含め全て連携すること。
- ⑬ 契約審査データのステータスは従来と同様の区分で管理し、メッセージ表示、ボタンの制御等は従来と同等とすること。
- ⑭ 「登録」時に必須フラグ、制御、パーツに応じたチェック処理を実施し、不備があれば不備項目に応じたエラーメッセージを表示すること。
- ⑮ 「修正／参照する」時に従来通り契約請求起案のリンク表示が可能なこと。
- ⑯ 「審査区分」タグの初期値を請求予算金額および契約種別に応じて自動で設定可能とする

こと。条件はDB等のマスタで管理可能なこと。

- ⑰ 「申請」タブは原課終了コード、「審査結果」タブは主管課終了コードを使用して後続処理の続行可否判定等を行うこと。「審査結果」タブは終了コードを複数使用する等で2段階の登録が可能なこと。

契約審査依頼書兼審査結果通知書

契約審査委員会委員長 殿

契約審査起案番号	0801E00001
契約審査委員会受付番号	8I委001

契約審査	契約審査委員会	審査区分	I 政府調達協定対象		令和8年11月1日		
請求元	本部組織 システム計算科学センター 業務DX推進室				担当者	機構 太郎 内線(000-000-0000)	
新規 継続	継続 (0501C00107)	契約予定 年 度	令和8年度	希望 納期	令和9年3月31日	プロジェクト名	プロジェクト対象外
請求予算金額 (単位:千円)	1,000千円		予算 財源	運営費交付金、 補助金	契約種別	購入契約(物品)	管理区域 作業
件名	R8/11/1契約審査件名						
希望選定 相手方	希望相手先A社、希望相手先B社						
政府調達通用除外要件	核物質防護		希望する契約方式	随意契約(特命)(1-(3)②ア)			
政府調達随意契約要件	特許権等		希望する契約方式	随意契約(特命)			
希望する契約方式	随意契約(特命)		特命クライテリア	1-(1)①			
目的	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。						
概要	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。						
相手方 選定理由	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。						
契約方式 とする理由	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。						
応募要件 ※確認公募を 選定する場合	文字数はDB上に登録できる上限まで記載できること。帳票に印刷する際に枠を超える場合はフォントサイズの大きさを調整すること。						

東海拠点システム計算科学センター長 殿

令和8年11月1日

以下のとおり、審査結果を通知します。

契約審査委員会委員長

第1回 契約審査委員会	
審査結果:	不承認 (不承認理由:不承認の為)
政府調達案件 一般競争契約によることができない理由	
適用除外要件(随意契約(特命)(1-(3)②ア))	
契約方式の判定	
随意契約(特命)	
事務局コメント	
事務局コメント	

図 2-2 印刷帳票イメージ

2.2.3 契約審査依頼起案情報検索処理

- ・下記①の要件を満たすこと。
- ① 既存の起案審査依頼起案情報検索処理において、汎用項目構築機能追加以前のデータと追加後のデータどちらも検索処理可能とすること。

2.2.4 契約審査結果抽出業務処理

- ・下記①～③の要件を満たすこと。
- ・契約審査結果抽出業務処理の画面イメージは図 2-3 を参考にすること。
- ・契約審査結果印刷帳票のイメージは図 2-4 を参考にすること。
- ① 契約請求業務処理メニューに契約審査結果抽出業務処理のリンクを追加すること。契約審査結果抽出業務処理は既存のメニューID 管理機能を用いて主管課のみ使用可能なこと。
- ② 契約審査結果抽出業務処理は既存の契約審査依頼起案情報検索処理をベースに、状態区分、分類、前回の契約番号等の検索条件および表示項目を追加し、契約審査結果の一覧検索が可能なこと。前回の契約番号項目はリンク付きでリンク押下時に別ウィンドウで当該契約番号を参照可能とすること。別ウィンドウについては、システム処理画面が複製できない様に画面遷移ボタンの非活性制御を行うこと。状態区分はタグを用いて登録データの回答内容から判別すること。状態区分未登録のデータは検索および印刷の対象外とすること。
- ③ 分類は委員会（Ⅰ）結果一覧表、委員会（Ⅱ）結果一覧表、部会（Ⅰ）結果一覧表、部会（Ⅱ）結果一覧表、部会（Ⅲ）結果一覧表等とし、データの内容に応じて分類を判別すること。印刷時はそれぞれの分類および状態区分（審査中か完了）の様式で一覧表を作成し出力可能とすること。複数の様式が混在する場合は一つのファイルに別シートとして一覧表を作成すること。

契約審査依頼抽出業務処理 (SE1A**G**)

ヘルプ

【所属】 業務DX推進室

【氏名】 機構 太郎

【処理日】 R08/11/01

メニュー

会計年度	R08	起算年月日	R08/11/01 ~ R08/11/01
契約審査起算番号	0801E00001 ※前方一致検索	起算者	A12345 機構 太郎
契約審査依頼箇所	02053004 検索 業務DX推進室		
プロジェクト名	プロジェクト対象外		
件名	R8/11/1契約審査件名 ※部分一致検索	請求予算額 (単位:千円)	1 千円 ~ 1,000 千円
契約審査起算番号	<input type="checkbox"/> 起算済 <input type="checkbox"/> 未起算		
状態区分	<input type="checkbox"/> 受付 <input type="checkbox"/> 審査中 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 差戻		
分類	<input type="checkbox"/> 委員会 (I) 結果一覧表 <input type="checkbox"/> 委員会 (II) 結果一覧表 <input type="checkbox"/> 部会 (I) 結果一覧表 <input type="checkbox"/> 部会 (II) 結果一覧表 <input type="checkbox"/> 部会 (III) 結果一覧表		

起算番号順
 起算者順
 起算年月日順
 契約審査依頼課室順

▶

一覧検索

条件クリア

印刷

起算番号	起算年月日	件名	契約審査依頼課室	起算者	請求予算額 (単位:千円)	状態	決裁区分	状態区分	電子決裁回数番号	契約請求番号	前回の契約番号	分類
0801E00001	R08/11/1	R8/11/1契約審査件名1	業務DX推進室	機構 太郎	1,000	確定済	電子決裁	受付	0801E00001S1001	0801C00001	0701C00001	委員会 (I) 結果一覧表
0801E00002	R08/11/1	R8/11/1契約審査件名2	業務DX推進室	機構 太郎	1,000	確定済	電子決裁	審査中	0801E00002S1001	0801C00002	0701C00002	委員会 (II) 結果一覧表
0801E00003	R08/11/1	R8/11/1契約審査件名3	業務DX推進室	機構 太郎	1,000	確定済	電子決裁	完了	0801E00003S1001	0801C00003	0701C00003	部会 (I) 結果一覧表
0801E00004	R08/11/1	R8/11/1契約審査件名4	業務DX推進室	機構 太郎	1,000	確定済	電子決裁	完了	0801E00004S1001	0801C00004	0701C00004	部会 (II) 結果一覧表
0801E00005	R08/11/1	R8/11/1契約審査件名5	業務DX推進室	機構 太郎	1,000	確定済	電子決裁	差戻	0801E00005S1001	0801C00005	0701C00005	部会 (III) 結果一覧表

図 2-3 契約審査結果抽出業務処理画面イメージ

委員会 (I) 結果一覧表および部会 (I) 結果一覧表のイメージ

令和8年度契約審査委員会 (I. 政府調達協定対象)

政府調達に関する協定の対象となる物品等調達契約審査依頼一覧表 (一般競争によることができない110万SDR以上の物品, 特定役務)

NO.	開催回	受付番号	契約年度	契約種別	契約種別	請求課	件名	予定金額 (千円)	請求元			新機・継続	事務局			備考	審査結果 (確定)			承認日	報告案件区分									
									希望契約方式	希望契約相手方	判断		要件	契約方式	クリア		理由	契約方式	クリア			公事要件								
1	1	8	1	8	1	8	購入契約 (物品)	1課 (原料)	本部経費 システム計 算科学センター 業務DX推進室	R8/11/1 契約審査件名1	1,000	特	1	特約買防課	特約買防課	希望相手先A社	新規	○	特	1	特約買防課	特約買防課	1-1) 特約買防課	1-1) 特約買防課	特約買防課	-	特	1	11/1	継続

委員会 (II) 結果一覧表および部会 (II) 結果一覧表のイメージ

令和8年度契約審査委員会 (II. 500万円以上)

500万円以上の契約審査依頼一覧表

NO.	開催回	受付番号	契約年度	契約種別	契約種別	請求課	件名	予定金額 (千円)	請求元			新機・継続	事務局			備考	審査結果 (確定)			承認日	報告案件区分					
									希望契約方式	希望契約相手方	判断		要件	契約方式	クリア		理由	契約方式	クリア			公事要件				
1	1	8	1	8	1	8	役務契約 (サービス)	1課 (原料)	本部経費 システム計 算科学センター 業務DX推進室	R8/11/1 契約審査件名2	1,000	特	1-1) 特約買防課	希望相手先A社	新規	○	特約買防課	1-1) 特約買防課	1-1) 特約買防課	特約買防課	1-1) 特約買防課	-	特	1	11/1	継続

図 2-4 契約審査結果印刷帳票イメージ

2.3 財務・契約系情報システム（財務契約系フロントシステム）の汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加に関する試験

2.3.1 財務・契約系情報システム（財務契約系フロントシステム）の汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加に関する試験

- (1) 本仕様書「2.1 全体概要」、「2.2 汎用項目構築機能および契約審査依頼業務に対する機能追加」にて作成、機能追加した内容を、発注者が保有する「財務・契約系情報システム」の検証環境を用いて試験を行うこと。
- (2) 試験を実施するにあたっては、検査要領書を1週間前までに提出し内容の確認を得ること。
- (3) 検査は、原則として発注者及び受注者の立会いのもとで行い、検査要領書に基づいて機能ごとに実施すること。
- (4) 運用環境の実運用データのコピーを用いて試験を行うこと。ただし、本追加機能の試験に必要なデータが不足していた場合には、受注者が試験データの追加登録を行うこと。

以 上